

消防庁防災課長 金谷裕弘

今年になっても、福岡西方沖地震、スマトラ沖地震、JR福知山線の事故と、災害・事故が相次いでおり、何かと心の落ち着かない年になっております。このたび、消防庁防災課長を拝命いたしました。こうした相次ぐ災害の中、重責に、身の引き締まる思いです。

この3月までは、愛媛県で勤務させていただきましたが、去年は、愛媛県も相次ぐ台風の襲来で、26人の方がなくなられるとともに、多数の負傷者、被害が発生しましたが、多くの地域は、これまでほとんど災害のなかった地域で、もはや「安全神話」はないということを感じていました。

先月、岩手県田老町で開催されました「地域安全学会」に参加させていただきました。何度も巨大な津波災害を経験され、「防災の町」を宣言されている同町での開催は、まことに感慨深いものがあります。地元の消防団の方が、「水門の閉鎖をすることとなったとき、津波の襲来による被害の軽減と、自分自身の生命とのかを考えると、大変悩む」とおっしゃっていたのが印象に残っております。地域は地域で守ると言うことが、広く言われておりますが、そのためには、それを支える人がおられることが前提であり、まさに地域の「住民」一人一人の方が、じっさいに行動されることが、それを実現する基本であると思います。先月のJR福知山線の事故の際は、すぐ近くの工場の方が、仕事を中断して、現地で救助に当たられるなど、地域の方々の災害への意識が減災につながると感じました。

災害が起こったとき、特に大規模な災害ときは、行政のみで、十分な対応はできませんが、そうしたとき、地域の力を強く感じますとともに、やはり、そのための備えが日頃からできていることがきわめて重要なことだと思います。

そのためにも、住民一人一人が、自覚を持って行動されるとともに、消防団、婦人防火クラブ、自主防災組織など、地域の住民の方々が組織的に活動することにより、地域の防災力を高めていくことが必要です。また、ボランティアの方々を含め、地域の防災、防火団体が連携しながら、総合力を発揮していくことが求められており、今後、地域の防災力を集結し、総合力を発揮できるよう創意工夫に努めて参る必要があると考えているところです。

皆様方におかれては、どうぞ、「地域防災の総結集」を合い言葉にそれぞれのお立場で、地域の防災力アップにご尽力いただければ幸いです。



新防災課長 金谷氏

[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 「がんばれ消防」の開催](#)
- [2. 都道府県予防事務担当者会議](#)
- [3. 平成17年春の叙勲](#)
- [4. 婦人防火クラブ新会長紹介](#)
- [5. 防火管理再講習講師担当者会議](#)